

# 登録実践研修機関・登録日本語教員養成機関 実地視察報告書

## ○実地視察機関概要

法人名称	ヒューマンアカデミー株式会社
法人代表者氏名	代表取締役 田中知信
主たる事務所の住所	東京都新宿区西新宿7丁目8番10号 オークラヤビル5階
養成業務を行う主たる事務所の名称	ヒューマンアカデミー大阪梅田校
上記の住所	大阪府大阪市北区芝田1丁目1番4号 阪急ターミナルビル10階
養成業務を開始する年月日	令和6年12月1日
研修事務を行う主たる事務所の名称	ヒューマンアカデミー大阪梅田校
上記の住所	大阪府大阪市北区芝田1丁目1番4号 阪急ターミナルビル10階
研修事務を開始する年月日	令和6年12月1日
養成課程定員数	420名
実践研修定員数	420名
本務等教授者数	4名

# 実地視察に対する講評

実地視察日：令和8年1月27日（火）

実地視察機関：ヒューマンアカデミー大阪梅田校

## 【全般的事項】

○登録実践研修機関・登録日本語教員養成機関として、全般的に基準を満たし実施されていたが、一部是正が必要な点があった。特に、本務等教授者の配置や業務分掌、実践研修の収容定員及び教員体制については見直しの必要が認められた。

## 【個別事項】

### 1. 登録日本語教員の養成に対する理念、設置の趣旨等

○「多文化共生に理解のある日本語教員の育成、実践力のある日本語教員の育成を目指し、日本全国での登録日本語教員の育成を目指す」という日本語教員養成の目標のもと、全国規模で展開する大規模な「登録実践研修機関及び登録日本語教員養成機関」であることに鑑み、日本語教員として必要な資質能力を備えた多くの日本語教員を養成することが期待される。

### 2. 実践研修又は養成課程の内容並びにこれらの履修方法

- 実践研修及び養成課程ともに、法人内の各校舎で統一されたシステムを用い、受講者の履修状況や成績等を管理しシラバス等の情報共有がされていることが確認できた。
- 養成課程の科目については、オンデマンドに加え、同時双方向によるオンライン形式で授業を実施しており、教授者等と受講生との意見の交換等の機会が確保されていることが確認できた。しかしながら、養成課程は通信で行うため、全国に所在する受講者への質問対応など、各校舎で対応が異なることがないよう、引き続き組織内の連携を取る必要があると考えられる。
- 養成課程入学時において、実践研修については受講生の希望時期に履修できるよう実践研修開講クラス数や担当講師の配置等について本部が主導となり調整していることが確認できた。しかしながら、現在の養成課程在籍者の人数と実践研修の定員数には乖離があるように思われ、今後、大幅な開講クラス数の増加を予定しているとのことであるが、現時点では、教員配置を含め十分な体制となっていないことが明らかとなった。

### 3. 指導者又は教授者の組織

- 養成課程の本務等教授者として3名が登録されているところ、実態として稼働しているのは2名であり、申請書類と異なる運用がなされていることが明らかとなった。本務等教授者が担う業務について整理し校舎内での業務分掌を含めた早急な体制の改善が求められる。
- 実践研修を担当する講師について今後の開講予定クラス数に見合う教員数が確保できていないことが明らかになった。講師の採用等の対応を行っていることが説明されたが、予定通りに実践研修クラスを増設開講できるよう引続き努める必要がある。
- 受講者管理や質問対応、成績管理、講師の配置等の業務は本部が担当し、カリキュラム等の内容面はアドバイザーを含め本部のプロジェクトチームが担当する等、養成課程及び実践研修の質を担保するために全国で統一した管理がなされていることが確認された。一方で、各校舎の責任者、本務等教授者、教員と本部の連携については課題があり、情報が適切に共有される体制を強化することが求められる。

### 4. 施設・設備

- 教員との面談スペース、自由に使用できるPCルーム、共用スペースなど充実した環境が整備されていること、また自習室が完備され授業外での学習場所も確保されていることが確認できた。

### 5. 登録実践研修機関の場合、教壇実習の実施計画、教壇実習機関等

- 申請書通りに実施されていることが確認できた。
- 実践研修クラス数の増設については同法人内のヒューマンアカデミー日本語学校大阪校との連携により、問題なく教壇実習が実施可能な見込みであることが確認できた。

### 6. 受講者の進路の状況

- 法人独自に「ヒューマンアカデミー日本語教師キャリアセンター」を立上げ全国の校舎で統一した求人情報、就職説明会等の情報の提供を行っているほか、校舎内での求人情報の掲示や個別相談を行うなど修了後のキャリア形成に対する支援が充実していることが確認できた。全国規模で多くの日本語教員を輩出する機関として他機関の模範になるような運営が期待される。

### 7. その他、特記事項

- 全国規模で課程（校舎）を運営しているため、どの課程（校舎）で受講しても同じ質の教育を受けることができるよう、本部が機能することが極めて重要である。そのため、本部と各課程（校舎）の所掌事務や連携体制について更に精査をし、より効率的な運営に努めることが期待される。

